

神戸市少年団登山教室活動（9月14日）報告

2024. 9. 16

1. 参加者 教室生 20名 岳連理事等12名

2. 記録 天気：晴

11:45 神戸登山研修所 集合

12:00 座学「地図の見方」（45分）
（3階大会議室）

13:00 教室生を10名ずつ2グループに分けてボルダリング（2階）、ロープクライミング（屋外）の両方を体験。

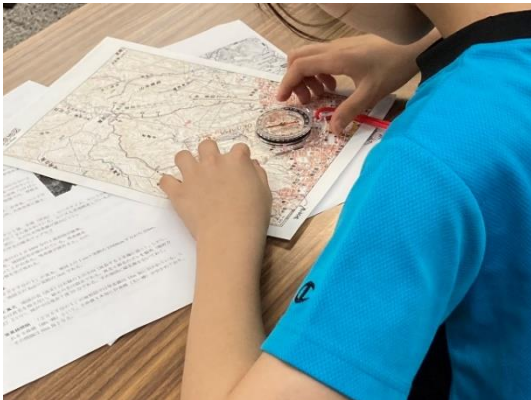
15:05 クライミング体験終了

15:15 活動終了後の全体会（3階大会議室）
解散

3. 配布物 レジュメ（「地図の見方」、「山の天気」）、
登山地図、地形図、ナビゲーション（栞）
プレートコンパス 10個（貸出）



4. 活動内容



座学は「地図の見方」を実施。「山の天気」は時間がなく資料配布のみ。山の遭難事故の多くは道迷いがあることを伝え地図を読むことの重要性を強調した。登山地図や地形図を配布して説明した。地図以外にもスマホの地図アプリも紹介した。その後、摩耶山周辺の地形図とプレートコンパスを使って地図の見方、プレートコンパスの使い方を実習した。

座学の後は2班に分かれてボルダリングとロープクライミングの体験。ロープクライミングは屋外の人工岩壁に2ルート、スポーツクライミング壁に2ルートに登る。ボルダリングは屋内で設定した課題にチャレンジした。

今回も厳しい残暑の中での活動で熱中症対策に多くの注意を払って今回の活動に臨んだ。

5. 感想

厳しい残暑の中での登山教室だった。屋内での座学やボルダリングは冷房が効いているので心配はなかったが、屋外でのロープクライミングは酷暑の中での活動なので可能なかぎり暑さ対策をとった。大型扇風機2台、休憩用のタープ設置、冷茶、塩飴、経口補水



液、氷などを準備した。教室生には帽子をかぶる、十分に飲料水を飲む、クライミングをしてい



ないときはタープの下に、体調が変と感じたらすぐに周りの指導者にその旨を伝える。また塩タブレットを配った。屋外でのクライミング体験時間は50分なので長すぎず、また教室生達も十分な飲料水を持ってきていたので体調を崩した者はでなかった。ロープクライミングとボルダリングの活動時間は午後1時から3時までの暑さの厳しい時間帯ではあったが、午前中は日差しが直接クライミング施設に当たりもっと暑さが厳しいことを考えると午後の時間帯で良かったと思う。教室生達は体調を崩すこともなく元気に登っていたが、さすがに屋外のロープクライミング後のボルダリング体験は少しきついようだった。次回はロープクライミングとボルダリングの交代時間を長く取りたい。

活動の前半の座学の「地図の見方」では地形図（摩耶山周辺）とプレートコンパスを使っての実習をした。地形図上で目標物を探し、その目標物の標高やそれをたどっていくとどこに着くかを調べ、プレートコンパスを使って目標物の方向を調べた。プレートコンパスの使い方は実地で使って馴れないと難しいと思った。

今回、「山の天気」も準備していたが、時間が足らず資料の配布だけになったのは残念だった。

（文責 大西）